

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和6年3月4日

事業所名 児童発達支援センター花りんご

保護者等数(児童数) 28 回収数 22

割合 78.5%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21			1		手狭になる場合は活動人数を分けて利用するように工夫しています。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	20			2	子どものペースで無理なく支援してくれていると感じている。	職員の配置は基準を満たしています。今後研修を重ねて専門性の向上に努めます	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	21			1		視覚的にわかりやすく工夫したり、必要に応じてスロープを設置できるようにしています。安全に配慮した空間になるように環境を整えていきます。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	21			1		感染症予防対策を毎日行っています。児童が個別療育に集中できるよう、環境を整えるための工夫をします。	
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	22					児童の状況と保護者の意向を基に支援計画を作成し、わかりやすい説明に努めます。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	21			1		具体的な支援内容を、分かりやすく説明することに努めます。	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	22					支援経過についてもわかりやすくお伝えすることに努めます。	
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	20		1	1	色々な活動に取り組んでいると思う。	個別の支援内容の変化に応じ、固定化しないようにしています。	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	19				3	個別ではこども園と併用しているので、その機会はある。	交流の機会はありませんでしたが、希望者には交流の機会を検討していきます。
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22						契約時に丁寧に行っています。変更がある際には、改めて説明することに努めます。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	22						

保護者への説明等	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	17	1	4	職員と面接する機会が増えることを希望する。	保護者から相談があった際に相談支援を随時行っています。ペアレントプログラムについての研修を強化し、家族支援につなげるよう努めます。	
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	21	1		連絡帳を見るのを楽しみにしている。	共通理解のために、状況を伝えあうことを今後も行います。	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20	1	1	職員と面接する機会が増えたら良いと思う。	面談等により、不明なことや心配事を引き出すように働きかけます。	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10			12	保護者懇談会があり、小学校入学に向けての様々な意見を聞く機会になった。	保護者懇談会は実施しましたが、保護者同士の連携の支援までにはなりませんでした。感染症対策をして保護者が参加できる活動を検討します。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	20	1		1		契約時に説明を分かりやすいように行っています。相談等に対しては迅速に対応します。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22					連絡帳に写真を貼り、伝わりやすいようにしています。また、保護者からのご要望等についても、いつでも連絡をいただけるようお願いしていきます。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	21			1	定期的な広報誌の発行と、ホームページでの情報発信に努めています。	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	21	1				法人の規定に基づき対応しています。
	非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	20			2	
21		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	21			1		毎月1回避難訓練を実施しています。
22		子どもは通所を楽しみにしているか	19	3			行きたがらないことがあっても、行くと楽しく過ごしている。	通所を楽しみにしていただけるよう、個別に支援内容を検討し実施します。

満足度	23	事業所の支援に満足しているか	18	4				希望する回数でサービスを利用できなかった。	多機能事業所としての定員に対して、ご希望に添うことが十分にできませんでした。今後の動向を予測して受け入れ態勢が整えられるよう努めます。
-----	----	----------------	----	---	--	--	--	-----------------------	---

\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月4日

事業所名 児童発達支援センター花りんご

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		手狭になる場合は活動人数を分けて利用するよう工夫しています。	定員に対しては基準を満たしていますが、日により活動人数を分けて今後も実施します。
	2 職員の配置数は適切である	6		障害特性に応じられるよう協力しながら行っています。	安全に支援するために職員の負担が大きくなることもあります。年齢や障害特性に配慮した配置となるよう、勤務の調整と質の向上に努めます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		視覚的にわかりやすく工夫したり、必要に応じてスロープを設置できるようにしています。	安全に配慮した空間になるように環境を整えています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		感染症予防対策を毎日行っています。	児童が個別療育に集中できるよう、環境を整えるための工夫をします。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6		業務改善について委員会にて検討し、事業所会議で報告しています。	1日の業務振り分けと送迎の配車について、改善を進めるための機会を増やしています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		毎年保護者による評価アンケートを実施しています。	保護者からのご意見を業務改善につなげていくよう努めます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		法人ホームページに公開しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6		今年度は青森県による書面指導を受け、改善に努めています。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		外部研修に参加したり、法人の研修会に参加しました。	外部研修に参加する機会を増やし、職員の質の向上に努めます。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		課題を客観的に分析して作成しています。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		標準化されたアセスメントツールの活用を増やしていきます。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	1	ガイドラインを基にしています。	より具体的な支援内容が設定できるようにアセスメントに力を入れます。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		支援内容を基にして、毎週取り組む活動を確認しています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1		スタッフ間で意見を出し合い、立案する機会を増やします。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		個別の支援内容の変化に応じ、固定化しないようにしています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6		個別の状況に合わせて組み合わせる内容で作成しています。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1	朝礼時に確認しています。	送迎等で朝礼に参加できない職員に対して、打ち合わせの内容が確認できるように努めます。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	個別支援の記録を日々行っています。	送迎等で職員間での振り返りに不在となる場合でも、気付いた点等を共有できるよう、個別支援記録に残しています。当日中に共有できなかった部分は次の日に確認しあいます。
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		日々の記録をモニタリングで検証することにつなげています。		

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		6ヶ月毎にモニタリングを行い、見直しています。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		直接支援している職員から情報提供しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	1	黒石市の事業に協力し、保健師や公認心理士との連携に努めました。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	-	-		現在、医療的ケア児の受け入れ体制はありません。受け入れる場合は子どもの主治医等と連絡体制を整えます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	-	-		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	2	必要に応じて行っています。	相互理解のためには十分な時間をとれないことがあります。丁寧に実施できるよう努めます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	2	必要に応じて行っています。	電話で情報共有する機会がありましたが、相互理解のためには十分な時間をとれませんでした。丁寧に実施できるよう努めます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		6		連携する機会を作ることができませんでした。事例検討等で助言を受ける機会を作ります。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		6		交流の機会はありませんでしたが、希望者には交流の機会を検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		6		地域に協議会がありませんが、今後発足に向けて行動します。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		連絡帳に活動の様子がわかる写真を貼付して伝えています。	共通理解のために、状況を伝えあうことを定期的に行います。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	3	ペアレントトレーニングの外部研修を受け、来年度に向けての学びを深めました。	広報誌等で情報発信し強化します。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧に説明を行っている	6		契約時に丁寧にしています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		同意を得ています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	2	保護者から相談があった際に相談支援を随時行っています。	定期的に行うことを計画します。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6		保護者懇談会を行いました。保護者同士の連携を支援することまでに至りませんでした。感染症対策をして保護者支援を強化していくための検討をします。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		契約時に相談や各種申し入れの受付について周知しています。相談や申し入れがあった際は迅速に対応しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		定期的に広報誌を発行し、ホームページでの情報発信にも力を入れました。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6		法人の規定に基づき対応しています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		それぞれにわかりやすいよう、表現方法に配慮しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6		今年度はその機会がありませんでした。地域住民と交流する機会を検討します。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	保護者には契約時に説明しています。発生を想定した訓練を実施しています。	感染症対策(対応)マニュアルについては更新が随時あるため、その都度周知します。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	毎月1回避難訓練を実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	契約時に保護者から確認しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	契約時にアレルギーについて保護者から確認をしています。	医師の指示書が必要な児童はいませんが、成長とともに変化がないか、保護者と情報交換して必要に応じて医師の指示書を求めています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	ヒヤリハットがあった際は事故防止のために検証し、情報共有しています。	事故防止を意識して、ヒヤリハット事例を検証する機会を増やします。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	セルフチェックを毎月行い、虐待防止委員会で検討することと、内部研修をしています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	身体拘束を行っておらず、個別支援計画に記載している児童はいません。	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、万が一に備えて検討します。